

令和4年10月13日

上越市長 中川 幹太 様

清里区地域協議会  
会長 古澤 文夫

### 坊ヶ池周辺の活性化の取組への支援に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、「坊ヶ池周辺の活性化の取組」について自主的に審議した結果、現状、課題、解決策を下記のとおりまとめましたので、提出いたします。

#### 記

当協議会では、「坊ヶ池周辺の活性化の取組」を自主的な審議のテーマとし、坊ヶ池周辺で活動する団体や上越清里星のふるさと館等の関係者と意見交換を行い、現状の把握や課題の抽出、必要な支援策について議論を重ねてまいりました。

清里区のシンボルである坊ヶ池は、昔から重要な水がめとして清里区の基幹産業である農業の振興に大きく貢献しているほか、大切な水道用水として利用されており、坊ヶ池周辺の環境保全に関わる地域の取組は、清里区全体にとっても重要であります。

また、坊ヶ池湖畔には新潟県最大の天体望遠鏡やプラネタリウムを備える上越清里星のふるさと館や上越平野を一望できる「清里農村体験宿泊休憩施設（山荘京ヶ岳ほか）」、キャンプ場、京ヶ岳城跡などがあり、地域活性化や教育の場として重要な役割を担っています。

平成29年度に市は山荘京ヶ岳を休館にしましたが、再開を望む地域の強い要望に応える形でNPO法人清里まちづくり振興会が施設名をビュー京ヶ岳に改めて、予約制の日帰り飲食サービスを提供し、地域の会合や観光イベント等に多く利用され、中山間地域の振興、特産品の活用、雇用等に成果がありました。

しかし、コロナ禍等の影響もあり住民組織による運営が厳しくなり、令和2年度で運営から退くと、令和3年度からは（一社）櫛池農業振興会が地元住民及び坊ヶ池湖畔を訪れる来訪者の憩い、交流の場としてビュー京ヶ岳カフェの営業を開始しました。

ビュー京ヶ岳カフェは、休日に限定した営業ですが、地域活動支援事業の助成を得ながら、地域おこし協力隊が運営に関わり、SNSはもちろんマスコミへの情

報発信、地産地消の推進、福祉事業所との連携等、地域内外との関わりを深め、取組に携わる住民も増えるなど、地域振興に大いに貢献しています。

しかしながら、施設が老朽化し、かつ施設全体の規模が大きいことから、施設の維持管理に要する経費の負担が過大となっております。

また、隣接する上越清里星のふるさと館では開館当初から天文指導協力委員会が地域活動支援事業を活用しながら、スターフェスティバルや隕石落下に関するイベントの開催、ゆるキャラ「くしりん」の制作、天文工作の指導や観望会など、運営を後押ししてきました。

このように地域活動支援事業を活用して、坊ヶ池周辺で地域振興に取り組んできた団体が、地域活動支援事業制度の廃止により活動に支障をきたすことは、清里区の活力の低下につながりかねません。

つきましては、清里区の維持発展のため、それぞれの団体の活動が継続できるよう、以下の取組について市の支援を望むものであります。

- ビュー京ヶ岳カフェの運営に影響する施設維持管理経費への支援
- 天文指導協力委員会が行ってきたスターフェスティバル等のイベント支援
- 坊ヶ池周辺の集客につながる統一的な取組への支援